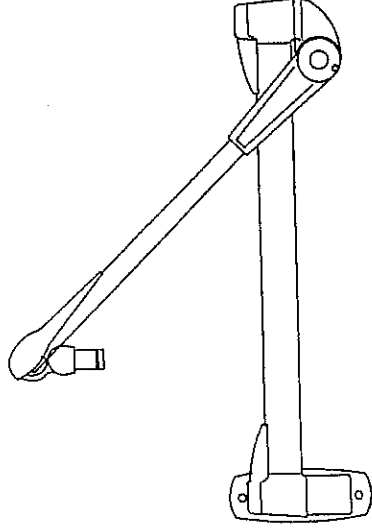


アーム式施工・取扱説明書

当社製品をご利用戴きまして
 ありがとうございます。
 この取扱説明書をよくお読み
 いただき、正しくお使いくだ
 さい。とくに「安全上の注意」は
 必ずお読みください。



1. △安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、「△警告」、「△注意」に区分していますが、誤った取扱をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に「△警告」の欄にまとめて記載しています。しかし、「△注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が損傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

△警告 △注意

- 必ず設計、施工は専門の業者にご依頼ください。
- 取り付け部の強度を十分に考慮して、使用に当たっても水平垂直が保てるように設計、施工を行うこと。傾きやゆらみが出来ると使用不能になります。
- 施工には、高所作業が伴います。足場を確保して安全に注意して行ってください。
- 施工中に物を落とすと危険です、回りのものを避けさせ、十分に保護を行ってからにしてください。
- 電源コンセントは必ず、ドライヤー1台ごとに専用回路を設けて、それぞれにブレーカーを配置してアース線をつけて故障や事故に備えてください。
- アームの関節のすきまに、指や手などが挟まり、けがや事故になる危険があります。
- アームの関節のすきまの近くに寄らないようにしてください。
- 廃棄処理については、適用される法規に従って適切に処理してください。
- 部品の磨耗や経年劣化によって故障が起きうる事があります。
- 施工後は、定期点検や日常点検をして、各部の緩みや傾き、コード、コンセントや機械部の異常音、異常な発熱、磨耗など点検し、その他異常が発生したと思われる時はすぐに電気を元からとめて、お買い上げ店にご相談ください。
- 性能向上などのため外觀や仕様など、予告なく変更することがあります。



株式会社 山田電機製作所

〒454-0831 名古屋市中川区三ツ屋町2の23

TEL. <052>361-1781(代) FAX. <052>353-0513

目次

- 最初に安全上の注意をお読みください……………1
- 各部の重量……………2
- アーム部の運動範囲……………3
- アンダーベースとベースカバーの取付け……………4
- アーム本体の取付け……………5
- アームのパネの調整……………6
- アームストップネジの使用法……………7
- 新規取付けの時、故障かなと思ったとき……………8
- アームノブネジについて……………9

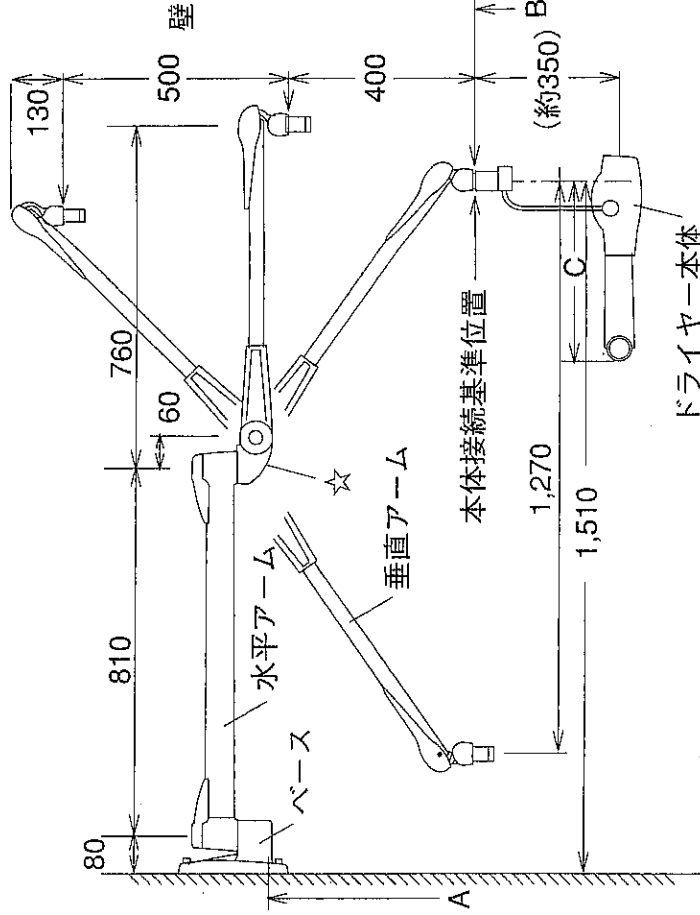
2.各部重量

ドライヤー本体 (機種により異なります)	アーム用ベース	標準アーム
5~9kg	1.6kg	6.5kg

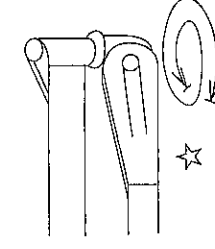
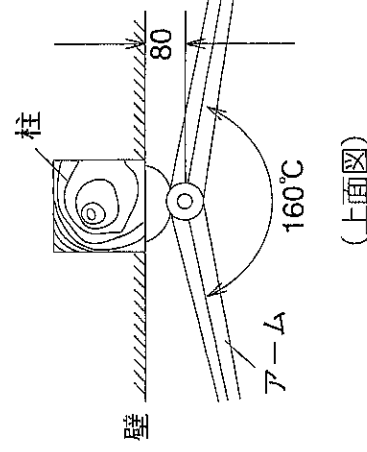
注意 重量とパネについて

機種の変更や年代の異なる製品を取付けると重量や摩擦の違いで6.のアームパネの調節が必要な時や仕様の違いなどにより調節出来ないことがあります。出荷時は現行の製品の製品になっています。

3.標準アーム部の運動範囲



標準型取付タイプ



- Aが2000の時Bは1550●C機種により異なります。約500
- ☆この部分は、1回転半以上回転しません。無理に力を入れますと故障の原因となりますので注意。

4. アンダーベースとベースカバーの取付け

a) 取付け面が木材の場合

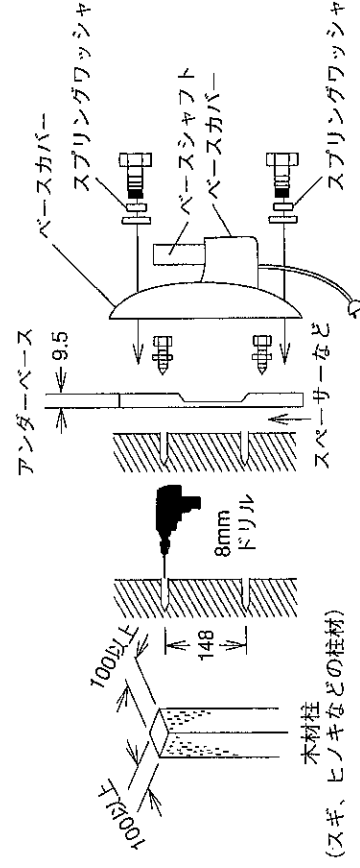
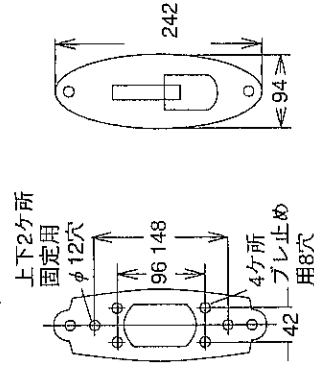
注意：取付け面と柱面との間に空間(化粧壁のすき間)があると取付けが出来ないので、その部分を木材などで全面補強して、取付け用ボルトをその分長くした物に取り替えて行ってください。ただし20mm程度まで。

①木材柱100角以上の面に取付けます。取付ける柱にアンダーベースのボルト穴を決め、電気ドリルでφ8の下穴を開けてください。また、プレ止用下穴は5.5~6φです。

②スクリューボルト(付属品)を使用して、アンダーベースを締め付けます。この時アンダーベースが垂直でない時は、アンダーベースの上下にスペーサーをはさみ込んで、取付け面の傾きを大きい面で補正してください。

③ベースカバーを付属のボルトでしっかりと締め付けてください。

アンダーベース ベースカバー



取付けは、148ピッチでM12ボルト2本とM8プレ止め用4本で取り付けます。

- メインM12用下穴φ8
- プレ止めM8用下穴φ5.5~6

コード長さ L=750

b) 取付け面がコンクリートの場合

注意：●アンカーボルトの選定はM12の長さは、コンクリートの穴あけ深さ70とコンクリート面から化粧壁までの深さと化粧壁から出る長さ23~25mmを考慮して、合うのがない時は、穴の深さを長くして選定してください。

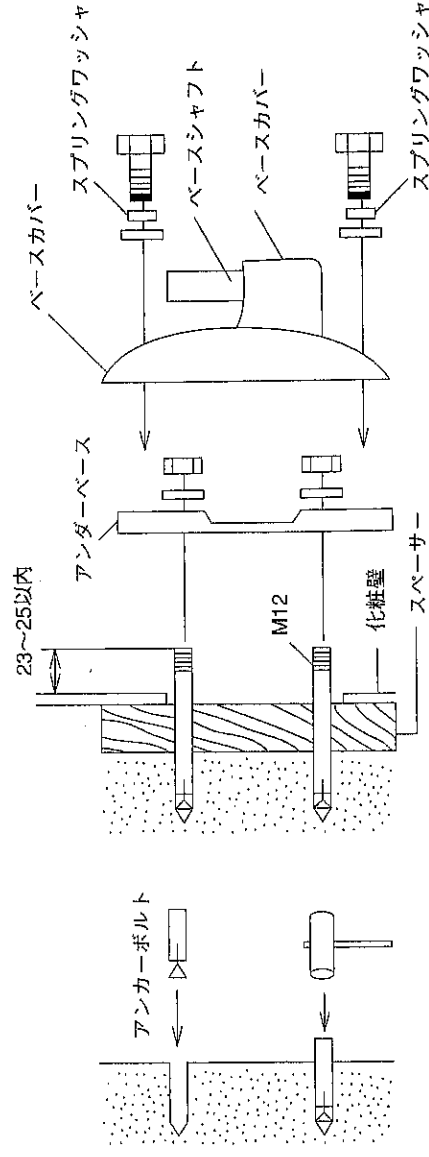
●プレ止め用はなしで行います。

①アンカーボルトが化粧壁から、出る長さを基準に下穴を約70mm開ける。

②アンカーボルトを打ち込む。

③コンクリート壁と取り付け面の化粧壁の間に空間がある時は木材などで空間を埋めてから、垂直補正も行いアンダーベースの取付けをする。

④アンダーベースにベースカバーを付属のボルトでしっかりと取付ける。



注意：アンダーベースは垂直になるよう取付けてください。傾いて取付けますと、アームが低い方へ流れてしまい、使用不能となります。

5.アーム本体の取付け

⚠警告 ⚠注意

- アームの関節のすき間に、指や手などがはさまり、けがや事故になる危険があります。慎重に工程ずつ進めてください。
- ロックピンは最後にドライヤー本体がついてから取り外す。
- アームの連結部に、ほこりごみなど異物が入ると故障の原因になります。
(連結部の保護の袋は、組み付けまぎわに、取り外してください。)

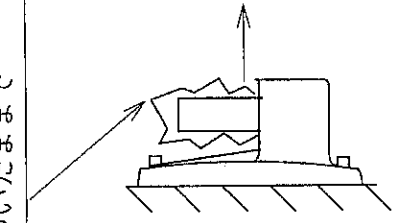
アーム組み付け

- ①アンダーベースを所定の方法で取付け(前ページを参考に)、その上にベースカバーを取付ける。
- ②ベースシャフトに付いている保護の袋を取り外す。(油は付いたままで。)
- ③アーム本体部をベースシャフトに沿って平行に、すきまが無くなるまで、はめ込みます。途中で傾くと、引っかかって、故障の原因になります。)
- ④アームを折りましたんで、しばってある、ひもを解いて、アームをやさしく広げる。
- ⑤アームの先端の近くに、ドライヤー本体取付けのためキャッツなど足場を確保する。
ドライヤー本体側の組み付けの準備でリングキーを取り外します。
スライドラリングを固定している、リング止めビスを緩め、スライドラリングを持ち上げ、リング止めビスをかるく締め付けて、スライドラリングを固定する。
中にあるリングキーを取り出す。
- ⑦アームの先端に付けてある保護の袋を外す。(油は付いたままで。)
- ⑧アーム部とドライヤー本体の接続
アームの先端を上から支えながら、下からドライヤー本体を根元まで取付け、その状態でリングキーを元の位置に取付けます。はみ出さないように正確に。
スライドラリングを固定している、リング止めビスを緩め、スライドラリングを下にさげリングキーが隠れるように下までさげ、ストッパービスを締め付ける。
(リング止めビスの下の平ワッシャーは、付いた状態のまま使用してください。)
- ⑨ロックピンの取り外し
アームとドライヤー本体が接続されると、ドライヤー本体の重みでロックピンが緩みます、ロックピンを取り外す。外れにくい時はドライヤー本体を軽く、上げ、下げ、で軽く取り出せる所があります。外れると、アームは上下に動かせます。
(外したロックピンは、アームの調節、取り外し修理に必要です。保管してください。)
- ⑩ドライヤー本体に電気を通しての試運転
ドライヤー本体のスイッチを一度きりにして、プラグの接続とブレーカーを入れる。
スイッチを入れ動作の確認をしてください。

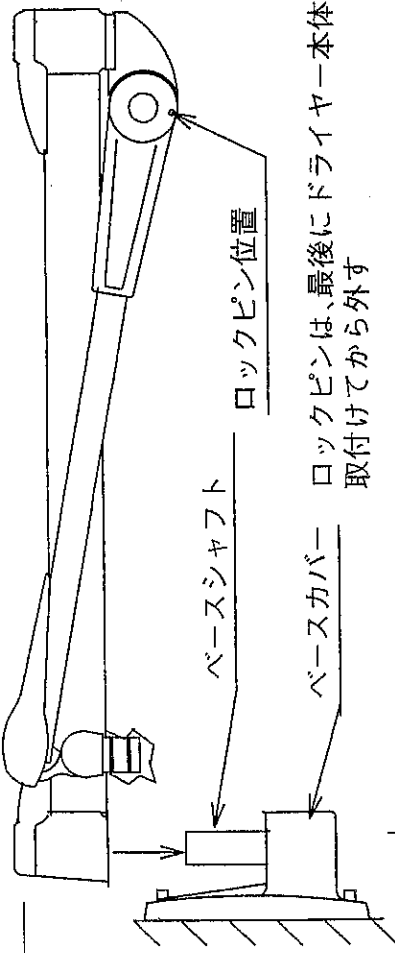
アームのご使用にあたって、移動方法の注意

上、下、回転などに、制限があるところがあります。制限以上に移動させようと力を入れると故障します。移動は、いきおいをつけしないでゆっくり、移動します。
制限に当たるときは、反対方向に回してください。
体重をかけての移動はさせないでください。

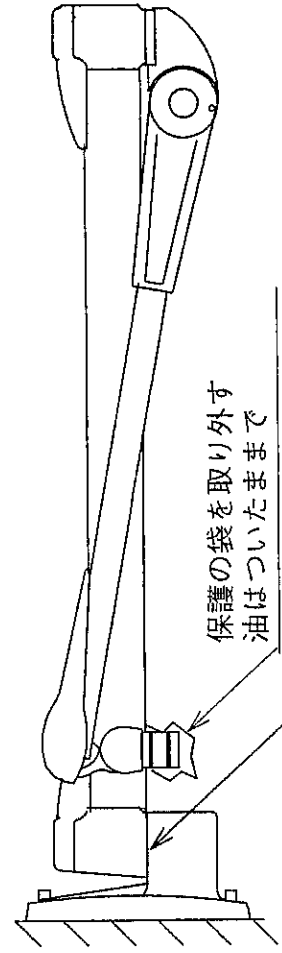
保護の袋を取り外す
油はついたままで



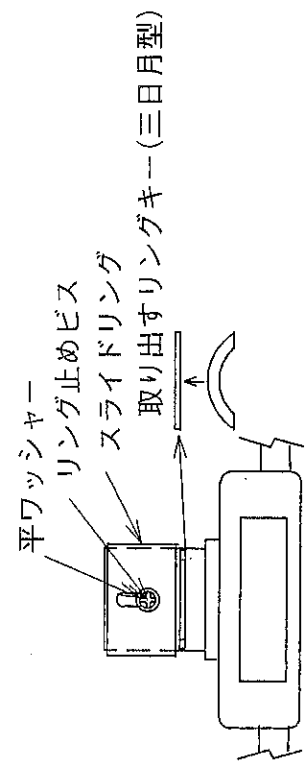
ベースシャフトに合わせ水平に取付ける



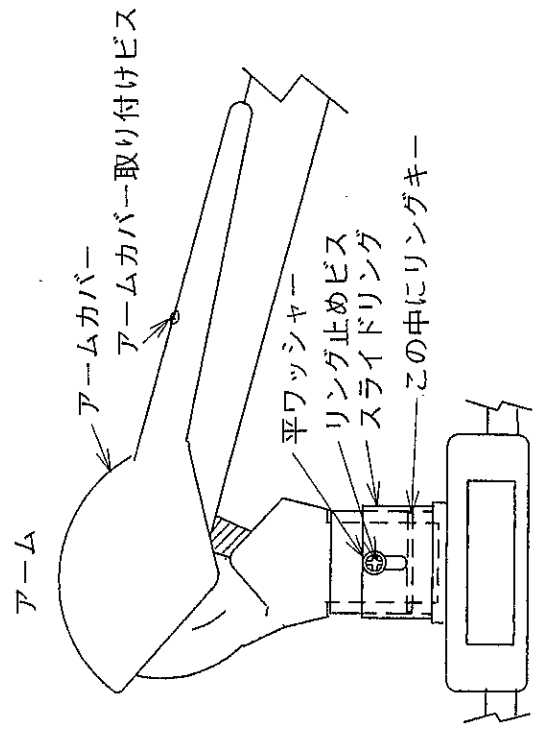
ベースカバー
ベースシャフト
ロックピン位置
ロックピンは、最後にドライヤー本体を
取付けてから外す



保護の袋を取り外す
油はついたままで
すぎ間がなくなるまで真つぐ、に取付けます



ドライヤー本体



ドライヤー本体

6.アームのバネ調節

これはアームの吊り下げの力が合わない時に調節してください。

⚠警告 ⚠注意

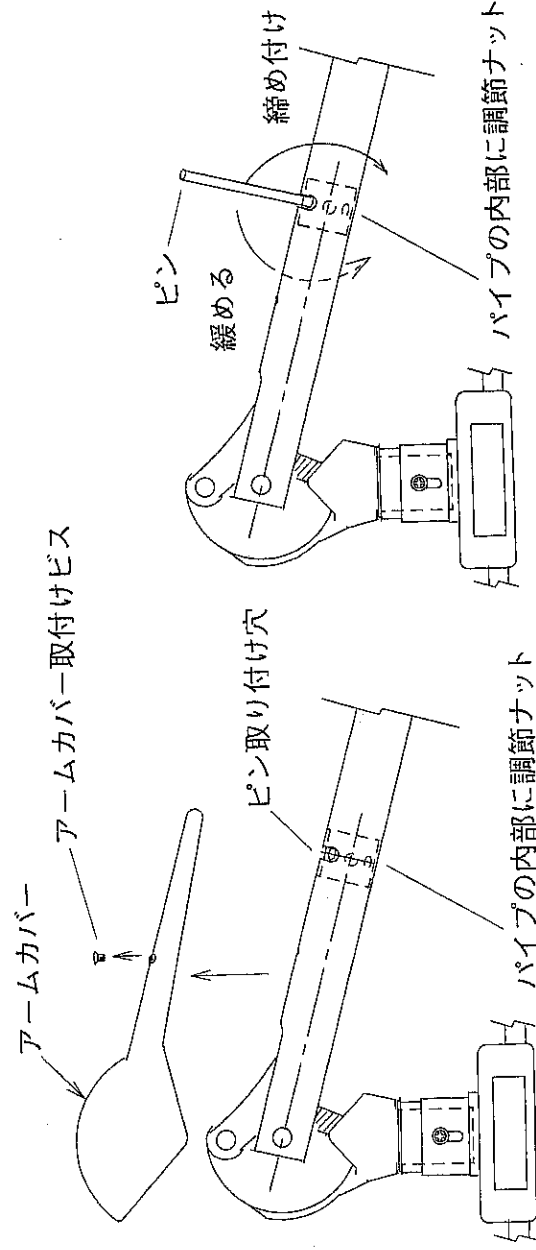
- アームの関節のすき間に、指や手などがはさまり、けがや事故になる危険があります。慎重に工程ずつ進めてください。
- キャタツの上の作業になります、足場を確保して慎重に行ってください。
- 電気はブレーカーやコンセントなど元から止めてから行ってください。
- アームの先に機械本体が取り付いた状態でロックピンを外して調節します。
(ドライヤー本体がついた状態でロックピンを外してあること)
- 物を落とすと危険です、まわりの物を避難させ、十分保護してください。
- 調節の時に、ピンが外れると反動でけがや事故の危険があります。ピンを回す時は突き当たりまではめ込み、中心方向に力を入れながらパイプに沿って回してください。

準備する物

ロックピン(ピン)新規取付けのときアームから外した直径6mmの丸棒
プラスドライバー、M4ビスを外す物
キャタツ、足場になる物

手順

- キャタツをアームカバーを外すため、アームの先端近くに用意してください。
- アームカバーの取付けビスを、プラスドライバーで外しカバーを外します。
- アームカバーの下にピン取り付け用の切れ込みの穴があります。その中に調節ナットがあり、その周囲にピンを入れる穴が8個開いています。
- 調節ナットにピンの取付けですが調節ナットの位置がアームの角度とバネの締め付け加減で変わります。アームを水平から上に動いていくと調節ナットの穴が出てきます、ピンを取付け、一穴ずつ移動します。
- アームの先端の方から見て、時計周りで締め付けで、反時計周りでゆるみます。アームが自然に下がる時は、締め付けてください。
- 調節ナットの動きが悪い時少し緩める方へ動かすか、調節ナットの上下に油をさして少し時間を置いて、動かしてください。



7.アームスッパーパーネジの使用手法

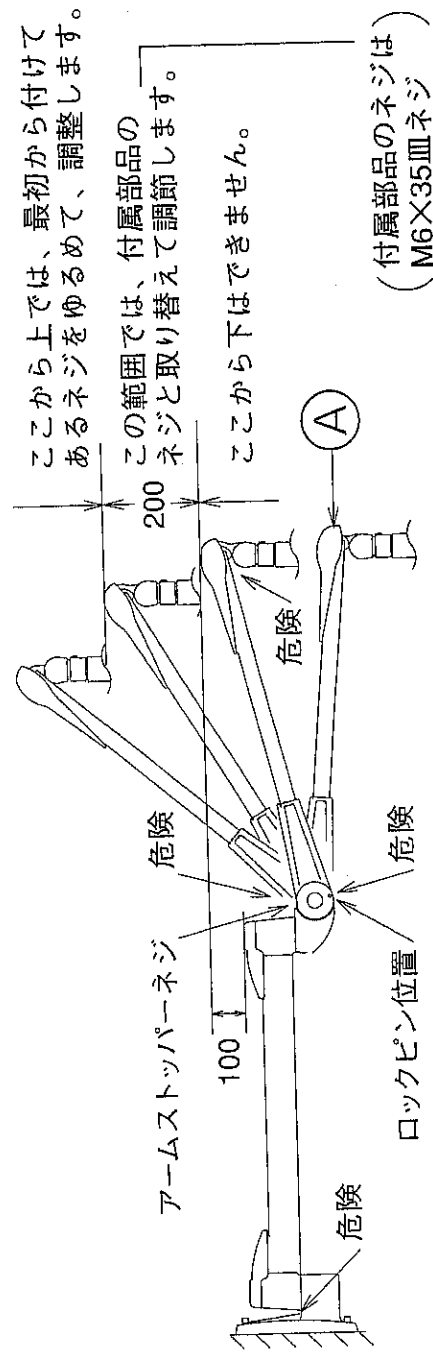
これはアームが天井や照明器具など障害物に当たらないようにアームの先が、上にあがるのを制限するものです。

▲警告 ▲注意

- アームの関節のすき間に、指や手などがはさまり、けがや事故になる危険があります。慎重に工程ずつ進めてください。
- キャタツの上の作業になります。足場を確保して慎重に行ってください。
- 電気はブレーカーやコンセントなど元から止めてから、行ってください。
- アームの先に機械本体が付いた状態でロックピンを外してあること
(ドライバー本体が付いた状態でロックピンを外してあること)
- 最初は、アームが一番上まで上がる状態になっています。
始めのころは、アームが上の方まで動くので、障害物に当たらないようにしてください。

手順

- アームを下の図(A)の位置まで下げ、工具M6用プラスドライバーで、アームスッパーパーネジを、緩めアームの高さの制限の調節をします。
(調整範囲が下の図の、200と書いてある範囲では、付属品のネジと取替えが必要です。取替える時は、落とさないように、慎重に取替えてください。)
- アームと障害物とのすき間は、アームがゆれるため、余裕を見て停止位置を設定してください。
アームをゆっくりに持ち上げ、停止予定位置で停止の確認、ストップパーネジを約1回転緩めたら、アームをゆっくりに持ち上げ、再度スッパーパーネジを緩め、停止位置まで繰り返してまらない時は、(A)の位置までアームを下げ、再度スッパーパーネジを緩め、停止位置まで繰り返して調節をしてください。



8.新規取付けの時 故障かな、と思ったら

①アームに力を入れなくても、横に移動する時は、ベースシャフトの傾きに寄ると思われます。ベースシャフトを支持している箇所を修正してください。(壁付けはベースカバーの下のアンダーベース)

②アームに力を入れなくても、下にさがるとき又は、上にあがる時は、本紙のアームのバネ調節の項目にしたがって、修正してください。

③アームが天井などに当たるときに、上がるのを制限する機能があります。本紙アームストッパーネジの使用方法にしたがって行ってください。

④ドライヤー本体のスイッチを入れても電気が通じなくて動かない時電気がコンセントの所まで通じているか、他の器具などを接続して動作の確認をしてください。

※電気が通じていない時は、ブレーカーを点検してください。

※電気が通じている時は、電気工事店で点検してください。

※アームの根元のベースシャフトとの接続部分の取り付けが最後まで接続されていない時。

(ドライヤー本体を取り外してから行います。)

プラグを外して電気の切り放しを確認します。ロックピンを元の位置に取り付けアームを固定してドライヤー本体を取り外します。

(ロックピンを元の穴の位置に付けるには、垂直アームが水平から少し上がった所に貫通して取付ける必要があります。)

アームの取付けの修正をして、組み立てを直してください。

組み立てが終わったらプラグを接続してドライヤーの試運転をする。

⑤ドライヤーを動かして、しばらく経つとブレーカーが切れる時

•他の器具と同一回路で、入り切りされる配線がある時、

ブレーカー容量を超過して、ブレーカーが切れる事があります。

この器具には電気を単独で送ること、工事をご検討ください。

⑥ブレーカーを入れて直ぐに切れる時は電気の異常があると思われま

電気工事店にご相談ください。

⑦その他お問い合わせください。

9.アームノブネジについて

垂直アームが力を入れなくても、横に移動する時にブレーキになるものです。あまりきつく締めないように、動きが悪くなります。(症状が強くなる時はアームの取付けが、ゆるい時や傾きがあります。取付けの修正が必要です、ベースカバーの中のアンダーベースの傾きの修正をしてください。)

